

# 小孔径スタンド

## はじめに

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使い下さい。また本書はお読みになった後も、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。本製品の仕様及び本書の内容は、将来予告無しに変更することがあります。万一弊社の製造販売に起因する不具合が、お買い上げより一年以内に発生した場合、無償修理いたしますのでお求めの販売店、営業所までご連絡下さい。

## 海外移転に関するご注意

本製品は、「外国為替及び外国貿易法」の規制対象品です。本製品やその技術を海外移転する場合は、事前に弊社にご相談ください。

## 各種の注意について

### 重要

- ・ 目的を達成するために必要な情報を示す注記です。
- ・ この指示に従わない場合、本製品の性能を損なう可能性あるいは維持することが困難になる可能性があることを示します。

### 注記

- ・ 本文の重要な点で、特に強調または補足すべき情報や特定の操作に関してご留意頂きたい事柄があることを示します。

## 使用環境について

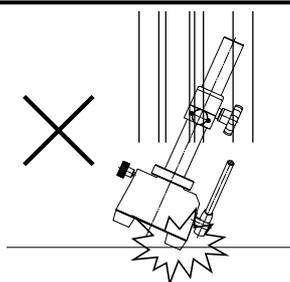
### 重要

温度は0～40℃、湿度は30～70%の環境下で、結露させぬ様注意してご使用下さい。ほこりや油、オイルミストが少なく、また直射日光の当たらない場所でご使用下さい。

## 使用上のご注意

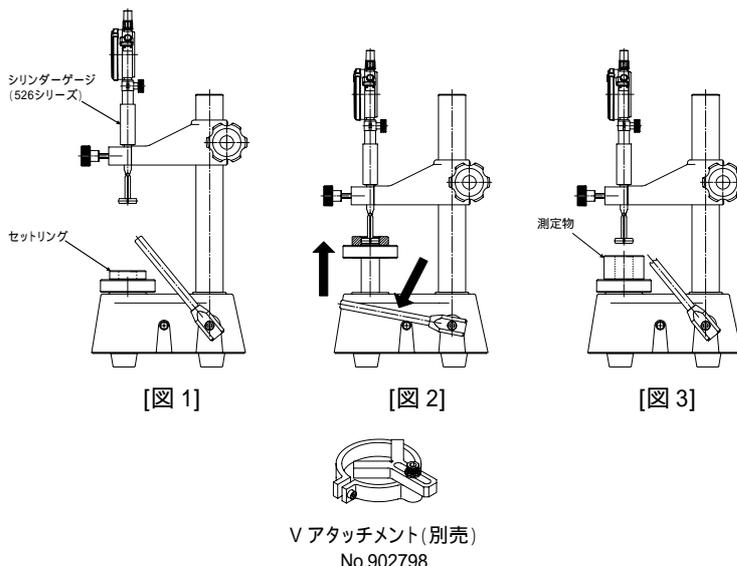
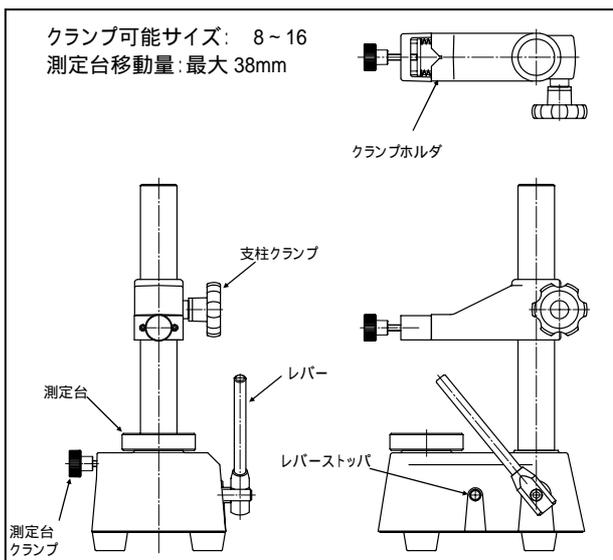
### 重要

本器は526シリーズシリンダゲージ用の小孔測定スタンドです。511シリーズには使用できませんのでご注意ください。  
 本体を落下または転倒させない様に十分ご注意ください。また落下等で衝撃が加わった時は、作動等を点検後にご使用下さい。  
 クランプホルダ、測定台の上下摺動が滑らかである事を確認して下さい。各部品取付け部等のねじが緩んでいない事を確認して下さい。  
 測定台等は非常に錆び易いため、湿気が多い場所でのご使用はお避け下さい。  
 測定台に局部的な集中荷重を加えないで下さい。測定面が欠損し測定に悪影響を及ぼす可能性があります。  
 当社以外で修理・分解・改造等を行われた場合には、当社による保証はできません。



## 各部の名称及び使用方法

本器は、別売の526シリーズシリンダゲージを取付け、多量のワークを迅速に測定するため考慮された便利なスタンドです。  
 操作法は、支柱クランプを緩め支柱の最上部付近までクランプホルダを持ち上げた後、再度支柱クランプを締め付けて、クランプホルダを固定します。クランプホルダ前方のつまみを廻してシリンダゲージを固定し、測定台にセツリングを載せます。[図1]  
 レバーをレバーストップまで倒して測定台を上昇させ、測定台クランプを締めて測定台の位置を固定します。次にシリンダゲージの測定子がセツリングに差し込まれる位置までクランプホルダの高さを下げて調整します。この際必ず手を添えてクランプホルダを急激に落下させない様、ご注意ください。[図2]  
 測定台クランプを緩めて測定台を下降させます。この際必ず手を添えて急激に落下させない様ご注意ください。再度レバーを手前に倒し測定子が確実にセツリングに差し込まれることを確認します。セツリングで基点合わせを行い、測定物を測定台に載せて測定を行います。[図3]  
 測定台の移動量(出荷時 38mm)は調節可能です。レバー根元の六角ねじを緩めると測定台とレバーがフリー状態になりますので、任意の測定台高さで測定台クランプを締め付け、レバーをレバーストップまで倒した状態で六角ねじを締め付けて下さい。  
 別売りVアタッチメント(No.902798)を使用すると、直径 25～50 の測定物の位置決めを行うことが出来ますのでより迅速な測定が可能となります。



### 注記

レバーの操作はゆっくりと行って下さい。測定器と測定物が干渉し破損や傷付きの原因となります。

## 保守点検・修理について

測定台の汚れは、乾いた布かアルコールを少量含ませた布で拭き取ります。  
 測定台やブラケット等は錆び易くなっております。長時間使用されない場合には防錆油を塗布し、湿度の低い場所に保管下さい。  
 本器の性能劣化は使用状態に大きく左右されます。お客様での使用頻度・環境・使用法等を考慮された上で、社内規格等に周期を定め、定期的に点検される事をお勧めします。